



宮本三郎 MIYAMOTO SABURO

CITIES AND NATURE — DIFFERENT LIGHTS

都市と自然 — それぞれの光

2025.11.1 | SAT | » 2026.3.15 | SUN |

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

開館時間 | 10:00~18:00(最終入館は17:30まで) 休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、年末年始(2025年12月29日~2026年1月3日)、11月3日(月・祝)、11月24日(月・振休)、1月12日(月・祝)、2月23日(月・祝)は開館、11月4日(火)、11月25日(火)、1月13日(火)、2月24日(火)は休館

観覧料 | 一般220円(180円)、大高生170円(130円)、65歳以上/中小生110円(90円) *障害者の方は110円(90円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。*()内は20名以上の団体料金 *世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日は無料



宮本三郎《上野夜景》1964年



宮本三郎《東京タワー》1964-65年



宮本三郎《海浜／海の記念日》1967-68年頃

洋画家・宮本三郎(1905-1974)は、人物を描くことを得意としていた一方で、日本各地や滞欧先において、しばしば風景画も描きました。本展では、宮本三郎が描いた都市と自然、それぞれの風景を光の表現に注目してご紹介します。

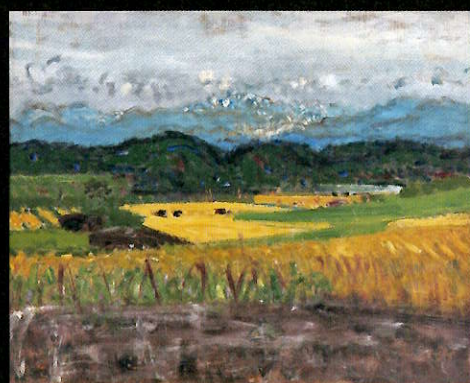
戦後の東京では、復興から高度経済成長期にかけてビルが次々に建設され、都市化が急速に進みます。その時代の中で、1958年に完成し首都の新たなシンボルとなった東京タワーや、街中のビルの灯り、カラフルなネオンサインなどは、宮本が新たな都市の風景として選び取った題材でした。人工的な光にあふれる夜景は、都市に渦巻く欲望とエネルギーを、ネオン輝く光を通して表現したものとと言えるでしょう。

一方で宮本は、自身の出身地である石川県小松市をはじめ、箱根、長崎など、彼が訪れた各地の自然あふれる風景も描いています。自然の風景を描く際には、その土地特有の日差しの印象を巧みに描き分け、その場の空気や時間を表現しました。

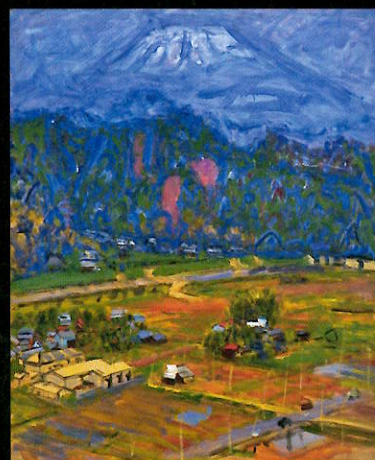
都市と自然という、宮本の対照的なまなざしの先にある「光」をご覧ください。



宮本三郎《箱根》1962-64年頃



宮本三郎《(白山遠望／小松風景)》1968年頃



宮本三郎《(風景／富岳と山村)》1962年頃

表面 宮本三郎《熱海夜景》(部分)1963年

* ()は題不詳につき仮題

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

【交通案内】 電車 ● 東急東横線・大井町線「自由が丘」駅より徒歩7分
● 東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分
● 東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分

バス ● 東急バス(渋11)田園調布駅～渋谷駅「奥沢六丁目」下車徒歩1分
● 東急バス(園01)田園調布駅～千歳船橋駅「浄水場前」下車徒歩10分

世田谷美術館分館
向井潤吉アトリエ館

〒154-0016
東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581
<http://www.mukajunkichi-annex.jp/>

没後30年 向井潤吉 心の交流記——民家を訪ね、描く楽しみ
2025.10.1|水|—2026.3.15|日|



©上野別堂

世田谷美術館分館
清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066
東京都世田谷区成城2-22-17
TEL.03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

清川泰次 デザインの仕事——生活に息づく美
2025.10.1|水|—2026.3.15|日|



©宮本和範

〒154-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075
東京都世田谷区砧公園1-2
TEL.03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

同時開催展

企画展

自然と魂 利根山光人の旅 異文化にみた畏敬と創造 9.13|土|—11.9|日|

つぐ minā perhonen 11.22|土|—2026.2.1|日|

ミュージアム コレクション 特別篇 開館40周年記念 世田美のあしあと——暮らしと美術のあいだで 2026.2.21|土|—4.12|日|

ミュージアム コレクション

ミュージアム コレクションⅡ もうひとつの物語——女性美術家たちの100年 7.26|土|—11.3|月・祝|

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様への配慮をお願いします。
※展示会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。